

整理番号 2018M-006
補助事業名 平成30年度モノづくりを通じた機械技術・工学への理解増進及び普及啓発による理工系人材育成への取組み補助事業
補助事業者名 公益財団法人 日本科学技術振興財団

1 補助事業の概要

(1) 事業の目的

超スマート社会の到来を前に、今わが国はイノベーション人材、理工系人材の育成が急務である。本事業は理工系人材育成を主たるテーマとし、技術が生活の向上や産業の継承と発展に果たしてきた役割について関心を持たせるとともに、機械技術・機械工学について実際に稼働する実機とモノづくり関連の技術解説展示を通じて製造業（モノづくり産業）の姿とその技術を伝えることで興味を深め、あわせて産業に関連するキャリアパスを示すことで、この分野を志す人材の育成に繋げることを目的とする。

(2) 実施内容

①平成30年度モノづくりを通じた機械技術・工学への理解増進及び普及啓発による理工系人材育成への取組み補助事業

(URL: http://www2.jsf.or.jp/00_info/pdf/h30_01_01_gaiyou.pdf)

本事業で製作する展示は、科学技術館2階「ものづくりの部屋」展示室に設置する。実機を用いて、実際にモノづくりの工程・過程の一部を示すとともに、機械要素技術・加工技術・素材のいろいろを紹介し、それらが活躍する産業を概観できるよう表現する。IT・IoT・AI等の発達により訪れているモノづくりの構造的な変革に触れるとともに、日本にとっての「モノづくりの役割と意義」を伝え、どのような製品であっても「モノは人が作り出していること」を描き、あわせてそこで活躍が期待される人材像についても表現する。



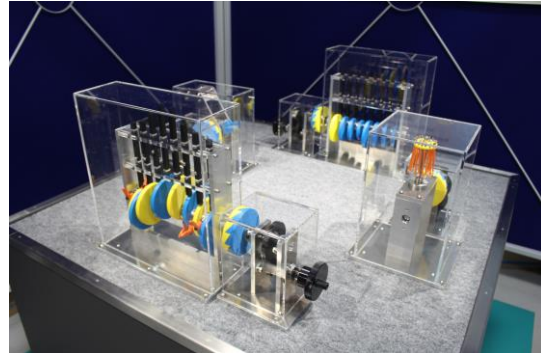
4ブースからなる展示概観



アクリルメダル・定規生産ライン



小型マシニングセンター



機械要素の体験

2 予想される事業実施効果

科学技術館の常設展示コーナーとして運用することで、青少年をはじめとする年間55万人以上の来館者を対象として、機械技術・工学とその周辺技術としてIT・IoT分野に対する理解増進と知識の普及啓発を見込んでいる。また、展示による体験を通じてものづくりに関連する科学・技術・産業への興味関心を高めるとともに、同分野をめざす優秀な人材の育成にも貢献できると考えられる。

3 補助事業に係る成果物

(1) 補助事業により作成したもの

科学技術館2階ものづくりの部屋 展示コーナー「北の丸製作所」

<http://www.jsf.or.jp/info/2019/03/kitanomarumanufacturing.php>

(2) (1) 以外で当事業において作成したもの なし

4 事業内容についての問い合わせ先

団体名： 公益財団法人 日本科学技術振興財団 (ニホンカクギジツシヨクザイダン)

住所： 〒102-0091

東京都千代田区北の丸公園2番1号

代表者： 理事長 榊原 定征 (サカキバラ サダユキ)

担当部署： 科学技術館運営部 実験演示・開発グループ

(カガクギジツカンウンエイブ ジッケンエンジ・カイハツ)

担当者名： グループリーダー 丸山 義巨 (マルヤマ イサオ)

電話番号： 03-3212-8509

F A X： 03-3212-8443

E-mail： maruyama@jsf.or.jp

U R L： <http://www2.jsf.or.jp/>